(.) incide this how

6-4-04

JFW

HDP/SB/21 based on PTO/SB/21 (08-00)

			Applie	cation Number	10/761	1,114	
TRANSMITTAL FORM (to be used for all correspondence after initial filing)			Filing Date		01/20/	01/20/2004	
			First Named Inventor		Hideki	Hideki KANIE	
			Group	Art Unit			
			Examiner Name				
Total Number of Pages	in This Submissio	n	Attorney Docket Number		er 0275M	0275M-000644/COB	
		ENCLO	SURES	(check all that ap	oly)		
Fee Transmittal Fo	orm		ment Pa _l Application		☐ Afte	er Allowance Communication to oup	
Fee Attached		☐ Drawing(s)			peal Communication to Board opeals and Interferences		
Amendment / Response		Licensing-related Papers			peal Communication to Group peal Notice, Brief, Reply Brief)		
After Final		Petition	Petition			prietary Information	
Affidavits/declaration(s)			Petition to Convert to a Provisional Application		☐ Sta	tus Letter	
Extension of Time	Request		of Attorney, Revocation e of Correspondence Address			her Enclosure(s) ease identify below):	
Express Abandonment Request			☐ Terminal Disclaimer ☐ Request for Refund			return receipt postcard	
☐ Information Disclosure Statement		CD, Number of CD(s)			•		
Certified Copy of Priority Document(s)		Rema	marks additional fees that		that may be re ount No. 02-25	is hereby authorized to charge any may be required under 37 CFR 1.16 or No. 02-2550. A duplicate copy of this	
Response to Missi Incomplete Applica							
Response to M Parts under 37 1.52 or 1.53							
	SIGNA	ATURE OF A	APPLIC	ANT, ATTORNE	Y, OR AGEN	IT	
Firm <i>or</i> Individual name	Harness, Dickey 8	& Pierce, P.L.		orney Name ristopher M. Brock		Reg. No. 27313	
Signature	Ulmi	iggel M. Brock					
Date	June 3, 2004	/					
		CERTIFICAT	E OF N	AILING/TRANS	MISSION		
addressed to: Direct	s correspondence or of the U.S. Pa	is being deportent and Trac	sited with demark (the United States Office, P.O. Box	Postal Service	as express mail in an envelop ria, VA 22313-1450, or facsi	
Typed or printed name Christopher M.					Express Mail	EV 533 149 082 US (6/3/20	
Signature Chindople					Label No.	<u> </u>	

Please upe a plus sign	n (+) inside this bo	× → []			HDP/S	SB/21 based on PTO/SB/2	
2004		, , 🗀		• •		· .	
<u> </u>	.9			cation Number	10/76	1,114	
TRANSMITTAL			Filing	Date	01/20/	/2004	
			First	First Named Inventor		i KANIE	
(to be used for all corr	(to be used for all correspondence after initial filing)		Group	Art Unit	1		
				Examiner Name			
Total Number of Pages	Total Number of Pages in This Submission		Attorney Docket Number		0275N	0275M-000644/COB	
		ENCL	OSURES	check all that apply)			
Fee Transmittal Fo	ım		Assignment Papers (for an Application)		1 —	After Allowance Communication Group	
Fee Attached		☐ Drawing(s)		Ap	peal Communication to B peals and Interferences		
Amendment / Resp	onse	Licens	Licensing-related Papers			peal Communication to Gopeal Notice, Brief, Reply Brief	
After Final		Petition	Petition			oprietary Information	
Affidavits/declaration(s)		_	Petition to Convert to a Provisional Application			atus Letter	
Extension of Time Request		Power of Attorney, Revocation Change of Correspondence Address			ther Enclosure(s) ease identify below):		
		Termir	Terminal Disclaimer			return receipt postcard	
Express Abandonn	nent Request	Reque	Request for Refund				
☐ Information Disclos	ure Statement	CD, Ni	CD, Number of CD(s)				
Certified Copy of Priority Document(s)		Rema	additional fees that		may be re	authorized to charge a equired under 37 CFR 1 550. A duplicate copy o	
Response to Missir] 5.1.554.15 5.1.5.15554.			
Response to M Parts under 37 1.52 or 1.53					· .	•	
,	SIGN/	ATURE OF	APPLIC	ANT, ATTORNEY, O	OR AGEN	NT	
Firm <i>or</i> Individual name	Harness, Dickey & Pierce, P.L.C			Attorney Name Christopher M. Brock		Reg. No. 27313	
Signature	Umi	forder	M.	Brock			
Date	June 3, 2004	7			_		
		CERTIFICA"	TE OF N	MAILING/TRANSMIS	SION		

Typed or printed name	Christopher M. Brock	Express Mail Label No.	EV 533 149 082 US (6/3/2004)
Signature	Christopher M. Brock	Date	June 3, 2004

日本国特許庁 JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 Date of Application:

2001年 7月31日

出 願 番 号 Application Number:

特願2001-231151

[ST. 10/C]:

Applicant(s):

[J P 2 0 0 1 - 2 3 1 1 5 1]

出 願 人

ポップリベット・ファスナー株式会社

2004年 5月18日

特許庁長官 Commissioner, Japan Patent Office 今井康



【書類名】 特許願

【整理番号】 Y1I0672

【提出日】 平成13年 7月31日

【あて先】 特許庁長官殿

【発明者】

【住所又は居所】 愛知県豊橋市野依町字細田(番地なし) ポップリベッ

ト・ファスナー株式会社内

【氏名】 蟹江 秀樹

【特許出願人】

【識別番号】 390025243

【氏名又は名称】 ポップリベット・ファスナー株式会社

【代理人】

【識別番号】 100059959

【弁理士】

【氏名又は名称】 中村 稔

【選任した代理人】

【識別番号】 100067013

【弁理士】

【氏名又は名称】 大塚 文昭

【選任した代理人】

【識別番号】 100082005

【弁理士】

【氏名又は名称】 熊倉 禎男

【選任した代理人】

【識別番号】 100065189

【弁理士】

【氏名又は名称】 宍戸 嘉一

【選任した代理人】

【識別番号】 100096194

【弁理士】

【氏名又は名称】 竹内 英人

【選任した代理人】

【識別番号】 100074228

【弁理士】

【氏名又は名称】 今城 俊夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100084009

【弁理士】

【氏名又は名称】 小川 信夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100082821

【弁理士】

【氏名又は名称】 村社 厚夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100086771

【弁理士】

【氏名又は名称】 西島 孝喜

【選任した代理人】

【識別番号】 100084663

【弁理士】

【氏名又は名称】 箱田 篤

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008604

【納付金額】

21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】

明細書 1

【物件名】

図面 1

【物件名】

要約書 1

【プルーフの要否】

要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 フットレスト装置及びフットレスト装置用クリップ

【特許請求の範囲】

【請求項1】 中実のプラスチック材料で形成されたフットレスト本体と、 車体フロアに取付けたねじスタッド又は周溝が形成された棒状スタッドを受入れ るように、フットレスト本体のフロア取付面に設けられたクリップとを備え、該 クリップを、前記スタッドを受入れるように押し込むことによって、フットレス ト本体がフロアに取付けられるフットレスト装置において、

前記クリップは、前記スタッドに係合する係止爪を有する第1クリップと、前記第1クリップの係止爪と前記スタッドとの係合の解除を可能にする第2クリップとから成り、前記第1クリップは、内側に前記係止爪を有する筒状体として形成されて前記フットレスト本体に固着されており、前記第2クリップは、前記第1クリップの筒状部の中に軸線回りに回転可能に収容されて、前記第1クリップの係止爪がスタッドに係合できる係合位置と、前記係止爪をスタッドに係合させないように撓める解除位置との間で選択的に角度回転させることができることを特徴とするフットレスト装置。

【請求項2】 請求項1に記載の装置において、前記第2クリップは、全体が前記第1クリップに収容されており、該第2クリップは、前記第1クリップの頭部に受入れられる大径の頭部と、該頭部から垂下して前記係止爪付近まで延びる解除カムとを包含し、該解除カムは、前記係合位置にあるとき前記係止爪にもその延長部にも係合しない位置にあり且つ前記解除位置にあるとき前記係止爪又はその延長部に係合して該係止爪をスタッドから離すように撓める位置にあるように形成され、第2クリップの頭部表面には、工具係合部が形成されており、前記フットレスト本体には、その表面から、前記第2クリップの頭部表面の工具係合部に工具を係合できる穴が延びていることを特徴とする装置。

【請求項3】 請求項2に記載の装置において、前記第2クリップの頭部側面と該頭部側面を包囲する第1クリップの頭部内周面とには、第2クリップが前記係合位置において第2クリップの角度回転を停止するための突起及びそれに軽く嵌合する凹部の組合せが形成されていることを特徴とする装置。

【請求項4】 請求項2又は3に記載の装置において、前記第1クリップの係止爪には、前記解除カムに係合する位置に解除レバーが形成されており、該解除レバーは、第1クリップの筒状本体内壁に連結されて前記係止爪にスタッドと係合する方向に弾性を付与するとともに、前記解除位置にある前記解除カムが係合すると係止爪をスタッドに係合しない半径方向外方に位置するように撓むことができるように形成されていることを特徴とする装置。

【請求項5】 請求項4に記載の装置において、前記解除レバーと前記解除 カムとには、第2クリップが前記解除位置において第2クリップの角度回転を停止するための突起及びそれに軽く嵌合する凹部の組合せが形成されていることを 特徴とする装置。

【請求項6】 請求項2~5のいずれか1項記載の装置において、前記フットレスト本体の成形の際にプラスチック材料が第1クリップ内部に浸入するのを阻止するため、前記第2クリップの頭部は、中空円筒に形成された前記第1クリップの頭部の内側に密接に接面して第1クリップの頭部を密封する円形の板状体に形成されており、前記第1クリップは、前記頭部からスタッド受入開口部までの外周壁部が連続して形成されて内側の空間を包囲していることを特徴とする装置。

【請求項7】 中実のプラスチック材料で形成されたフットレスト本体を、 車体フロアに取付けたねじスタッド又は周溝が形成された棒状スタッドを利用し て車体フロアに固定するため、前記フットレスト本体のフロア取付面の側に取付 けられる、フットレスト装置用クリップにおいて、

前記スタッドに係合する係止爪を有する第1クリップと、前記第1クリップの 係止爪と前記スタッドとの係合の解除を可能にする第2クリップとから成り、前 記第1クリップは、内側に前記係止爪を有する筒状体として形成されて前記フッ トレスト本体に固着されるようになっており、前記第2クリップは、前記第1ク リップの筒状部の中に軸線回りに回転可能に収容されて、前記第1クリップの係 止爪がスタッドに係合できる係合位置と、前記係止爪をスタッドに係合させない ように撓める解除位置との間で選択的に角度回転させることができることを特徴 とするフットレスト装置用クリップ。 【請求項8】 請求項7に記載のクリップにおいて、前記第2クリップは、全体が前記第1クリップに収容されており、該第2クリップは、前記第1クリップの頭部に受入れられる大径の頭部と、該頭部から垂下して前記係止爪付近まで延びる解除カムとを包含し、該解除カムは、前記係合位置にあるとき前記係止爪にもその延長部にも係合しない位置にあり且つ前記解除位置にあるとき前記係止爪又はその延長部に係合して該係止爪をスタッドから離すように撓める位置にあるように形成され、第2クリップの頭部表面には、工具係合部が形成されていることを特徴とするクリップ。

【請求項9】 請求項8に記載のクリップにおいて、前記第2クリップの頭部側面と該頭部側面を包囲する第1クリップの頭部内周面とには、第2クリップが前記係合位置において第2クリップの角度回転を停止するための突起及びそれに軽く嵌合する凹部の組合せが形成されていることを特徴とするクリップ。

【請求項10】 請求項7又は8に記載のクリップにおいて、前記第1クリップの係止爪には、前記解除カムに係合する位置に解除レバーが形成されており、該解除レバーは、第1クリップの筒状本体内壁に連結されて前記係止爪にスタッドと係合する方向に弾性を付与するとともに、前記解除位置にある前記解除カムが係合すると係止爪をスタッドに係合しない半径方向外方に位置するように携むことができるように形成されていることを特徴とするクリップ。

【請求項11】 請求項10に記載のクリップにおいて、前記解除レバーと前記解除カムとには、第2クリップが前記解除位置において第2クリップの角度回転を停止するための突起及びそれに軽く嵌合する凹部の組合せが形成されていることを特徴とするクリップ。

【請求項12】 請求項8~11のいずれか1項記載のクリップにおいて、前記フットレスト本体の成形の際にプラスチック材料が第1クリップ内部に浸入するのを阻止するため、前記第2クリップの頭部は、中空円筒に形成された前記第1クリップの頭部の内側に密接に接面して第1クリップの頭部を密封する円形の板状体に形成されており、前記第1クリップは、前記頭部からスタッド受入開口部までの外周壁部が連続して形成されて内側の空間を包囲していることを特徴とするクリップ。

【発明の詳細な説明】

$[0\ 0\ 0\ 1]$

【発明の属する技術分野】

本発明は、車体のフロアに取付けたねじスタッド又は周溝が形成された棒状の スタッドを利用して取付けるフットレスト装置及びフットレスト装置用クリップ に関する。

$[0\ 0\ 0\ 2]$

【従来の技術】

フットレストを車体のフロアに取付けるには、種々の方法が採用されている。 その1つに、車体のフロアに取付けたねじスタッド又は周溝が形成された棒状の スタッドを利用して取付ける方法がある。実公平5-1686号公報には、フロ アに固着されたねじスタッドを利用してアクセルペダルのストッパを取付ける構 造が示されている。このアクセルペダルストッパの取付構造は、フロアのねじス タッドを利用するので、取付けが簡単である。この取付構造をフットレストの取 付けに適用した場合、車の衝突時等には、車体の変形とともにフットレストが室 内方向に進んできて、載置している運転者の足が傷害を受ける惧れがある。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】

このような傷害の防止のため、特開2000-168422号公報には、衝突等の衝撃を吸収できるフットレスト装置が開示されている。図1にそのフットレスト装置1を示す。図1において、フットレスト装置1は、フットレスト本体2がウレタン等の衝撃吸収材の中実(むく)のプラスチック材料で形成されて、衝突等の衝撃を吸収しており、また、フットレスト本体のフロアへの取付け面3には、車体のフロアに取付けたねじスタッド又は周溝が形成された棒状のスタッドに対応する、2個所の位置に、スタッドを受入れる筒状のクリップ5がフットレスト本体に不動に固着されている。そのため、スタッドを利用して、フットレストの位置決めを確実に行うことができる。このように、特開2000-168422号公報に記載のフットレスト装置は、衝突等の衝撃を吸収するだけでなく、フロアに敷かれるカーペット等に影響を受けることなく、単独でフロアに確実に

位置決めされてそのまま固定され、更に、フットレスト本体とクリップとを一体成形できるので、管理や取扱い及び取付作業も簡単になる等の利点もある。しかし、このフットレスト装置は、カーペットや他の部品交換のため、あるいは保守や修理の際の一時的なあるいは永久的な取外しの際に、フロアから取外すのが面倒であった。

[0004]

従って、本発明の目的は、車体のフロアに取付けたスタッドを利用してフット レストの位置決めを確実にでき且つ衝突等の衝撃も吸収できる、クリップと一体 成形されるフットレスト装置を簡単に取外しできるようにすることにある。

[0005]

【課題を解決する手段】

かかる目的を達成するため、本発明によれば、中実のプラスチック材料で形成 されたフットレスト本体と、車体フロアに取付けたねじスタッド又は周溝が形成 された棒状スタッドを受入れるように、フットレスト本体のフロア取付面に設け られたクリップとを備え、該クリップを、前記スタッドを受入れるように押し込 むことによって、フットレスト本体がフロアに取付けられるフットレスト装置で あって、前記クリップは、前記スタッドに係合する係止爪を有する第1クリップ と、前記第1クリップの係止爪と前記スタッドとの係合の解除を可能にする第2 クリップとから成り、前記第1クリップは、内側に前記係止爪を有する筒状体と して形成されて前記フットレスト本体に固着されており、前記第2クリップは、 前記第1クリップの筒状部の中に軸線回りに回転可能に収容されて、前記第1ク リップの係止爪がスタッドに係合できる係合位置と、前記係止爪をスタッドに係 合させないように撓める解除位置との間で選択的に角度回転させることができる ことを特徴とするフットレスト装置が提供される。フットレスト装置は、フット レスト本体の衝撃吸収性を維持し、第1クリップによってフロアに確実に位置決 め固定され、しかも、第2クリップを係合位置から解除位置に一定角度回転する だけで、第1クリップとスタッドとの係合を解除でき、それによってフットレス ト装置全体をフロアから簡単に取外しできる。フットレスト装置を再利用する場 合には、第2クリップを係合位置に戻すと、第1クリップはスタッドと係合可能 になるので、第1クリップをスタッドを受入れるようにフットレスト装置をフロ アに向けて押し込むと、フットレスト装置がフロアに取付けられ、再利用も簡単 にできる。

[0006]

上記フットレスト装置において、第2クリップは、全体が第1クリップに収容 され、第2クリップは、第1クリップの頭部に受入れられる大径の頭部と、該頭 部から垂下して前記係止爪付近まで延びる解除カムとを包含し、該解除カムは、 前記係合位置にあるとき係止爪にもその延長部にも係合しない位置にあり且つ前 記解除位置にあるとき係止爪又はその延長部に係合して該係止爪をスタッドから 離すように撓める位置にあるように形成され、第2クリップの頭部表面には、工 具係合部が形成され、フットレスト本体には、その表面から、第2クリップの頭 部表面の工具係合溝に工具を係合できるように延びる穴が形成されている。これ によって、ドライバ等の工具先端を穴から差し込んで、第2クリップ頭部の係合 部に係合させて、第2クリップを所定の角度(例えば、90度)回転させるだけ で、フットレスト装置をフロアから取外しできる。

この場合、第2クリップの頭部側面と該頭部側面を包囲する第1クリップの頭 部内周面とには、第2クリップが前記係合位置において第2クリップの角度回転 を停止するための突起及びそれに軽く嵌合する凹部の組合せが形成されている。 これによって、第2クリップが係合位置から不用意に回転することがなくなり、 また、作業者には、解除位置から係合位置への回転を嵌合によって知ることがで きる。

更に、第1クリップの係止爪には、解除カムに係合する位置に解除レバーが形 成されており、該解除レバーは、第1クリップの筒状本体内壁に連結されて係止 爪にスタッドと係合する方向に弾性を付与するとともに、前記解除位置にある解 除カムが係合すると係止爪をスタッドに係合しない半径方向外方に位置するよう に撓むことができるように形成されている。それによって、係止爪とスタッドと の係合及び解除を確実にする。その解除レバーと解除カムとには、第2クリップ が前記解除位置において第2クリップの角度回転を停止するための突起及びそれ に軽く嵌合する凹部の組合せが形成されている。作業者には、係合位置から解除 位置への回転を嵌合の感覚によって知ることができる。

そして、フットレスト本体の成形の際にプラスチック材料が第1クリップ内部に浸入するのを阻止するため、第2クリップの頭部は、中空円筒に形成された第1クリップの頭部の内側に密接に接面して第1クリップの頭部を密封する円形の板状体に形成されており、第1クリップは、その頭部からスタッド受入開口部までの外周壁部が連続して形成されて内側の空間を包囲している。

[0007]

また、本発明によれば、中実のプラスチック材料で形成されたフットレスト本体を、車体フロアに取付けたねじスタッド又は周溝が形成された棒状スタッドを利用して車体フロアに固定するため、前記フットレスト本体のフロア取付面の側に取付けられる、フットレスト装置用クリップが提供される。このクリップは、前記スタッドに係合する係止爪を有する第1クリップと、前記第1クリップの係止爪と前記スタッドとの係合の解除を可能にする第2クリップとから成り、前記第1クリップは、内側に前記係止爪を有する筒状体として形成されて前記フットレスト本体に固着されるようになっており、前記第2クリップは、前記第1クリップの筒状部の中に軸線回りに回転可能に収容されて、前記第1クリップの係止爪がスタッドに係合できる係合位置と、前記係止爪をスタッドに係合させないように撓める解除位置との間で選択的に角度回転させることができることを特徴とする。

このクリップによって、第2クリップを係合位置から解除位置に一定角度回転するだけで、第1クリップとスタッドとの係合を解除でき、それによってフットレスト装置全体をフロアから簡単に取外しできる。フットレスト装置を再利用する場合には、第2クリップを係合位置に戻すと、第1クリップはスタッドと係合可能になるので、第1クリップをスタッドを受入れるようにフットレスト装置をフロアに向けて押し込むと、フットレスト装置がフロアに取付けられ、再利用も簡単にできる。更に、第2クリップは第1クリップの中に収容されて、全体として1つのクリップとなるので、フットレスト本体の成形の際にインサートとして一体成形することができる。

[0008]

8/

前記クリップにおいても、第2クリップは、全体が第1クリップに収容されて おり、該第2クリップは、第1クリップの頭部に受入れられる大径の頭部と、該 頭部から垂下して前記係止爪付近まで延びる解除カムとを包含し、解除カムは、 前記係合位置にあるとき前記係止爪にもその延長部にも係合しない位置にあり且 つ前記解除位置にあるとき前記係止爪に係合して該係止爪をスタッドから離すよ うに撓める位置にあるように形成され、第2クリップの頭部表面には、工具係合 部が形成されている。また、第2クリップの頭部側面と該頭部側面を包囲する第 1クリップの頭部内周面とには、第2クリップが前記係合位置において第2クリ ップの角度回転を停止するための突起及びそれに軽く嵌合する凹部の組合せが形 成されている。更に、第1クリップの係止爪には、解除カムに係合する位置に解 除レバーが形成されており、該解除レバーは、第1クリップの筒状本体内壁に連 結されて係止爪にスタッドと係合する方向に弾性を付与するとともに、前記解除 位置にある解除カムが係合すると係止爪をスタッドに係合しない半径方向外方に 位置するように撓むことができるように形成されている。その解除レバーと解除 カムとには、第2クリップが前記解除位置において第2クリップの角度回転を停 止するための突起及びそれに軽く嵌合する凹部の組合せが形成されている。そし て、フットレスト本体の成形の際にプラスチック材料が第1クリップ内部に浸入 するのを阻止するため、第2クリップの頭部は、中空円筒に形成された第1クリ ップの頭部の内側に密接に接面して第1クリップの頭部を密封する円形の板状体 に形成されており、第1クリップは、その頭部からスタッド受入開口部までの外 周壁部が連続して形成されて内側の空間を包囲している。

[0009]

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明の実施例を説明する。本発明において、図1に示すフットレスト本体は、後述の工具差込穴を除いて殆どそのままの形態であり、その材料も、例えば、振動の吸収特性に優れたウレタンや、ポリプロピレン(PP)又はポリエチレン(PE)発泡ビーズ等の軟質樹脂材から成る中空(むく)の材料で、成形型を用いて成形される。この成形には、射出成形の他に、他の注入型の成形も用いることができ、それ以外の成形であってもよい。フットレスト

本体は、全体的にほぼ直方体を成す中空の軟質材料で形成され、載置していた足への衝突時の衝撃を吸収することができる。フットレスト本体のフロア取付面には、クリップが固定される。クリップの固定は、クリップをインサートとして成形型に位置決め保持して、フットレスト本体の成形の時にフットレストの中に埋め込まれる。本発明において、本発明に係るフットレスト装置では、従来のクリップと対比して、その構成が大きく異なる。なお、フットレスト本体へ固定するクリップの数は、任意であるが、図1のクリップ5のように、車体フロアに取付けたねじスタッド又は周溝が形成された棒状スタッドに合わせて、クリップが複数個所(例えば2個所)に設けられることが多い。以下の説明において、フットレスト本体については、図1も参照されたい。

$[0\ 0\ 1\ 0]$

先ず、本発明に係る、フットレスト装置用クリップについて、図2~図8を参照して説明する。図2にクリップ9の全体が示されている。クリップ9は、前記のように、フットレスト本体の成形の際のインサートとなるので、フットレスト本体より前に形成される。クリップ9は、スタッドに係止してフットレスト本体をしっかり固着できる剛性を有するように、硬質プラスチックで形成される。本発明において、図2に示すように、クリップ9は、内側にスタッドに係合する係止爪を有する第1クリップ10と、第1クリップ10の係止爪とスタッドとの係合の解除を可能にする第2クリップ11とから成る、アセンブリとして構成される。第1クリップ10は、内側にスタッドと係合する係止爪を有しする筒状体として形成されて、フットレスト本体に固着されるようになっている。第2クリップ11は、第1クリップ10の中空部の中に軸線回りに回転可能に収容される。第2クリップ11は、第1クリップ10の係止爪がスタッドに係合できる係合位置と、係止爪をスタッドに係合させないように撓める解除位置との間で選択的に角度回転させることができる。

$[0\ 0\ 1\ 1]$

第1クリップ10の詳細について、図3~図6を参照して説明する。第1クリップ10は、全体として、中空の円筒体として形成され、上部の頭部13と、下部の本体部14から成る。頭部13は、第2クリップ11の頭部を収容して、第

2 クリップ頭部を上下方向には移動しないが軸線回りには回転できるように、保 持する。そのため、頭部13は、第2クリップ頭部よりやや大径の円環状の壁部 で形成されており、下部には、図4及び図5に示すように、第2クリップ頭部の 下面を受けるドーナツ形状の座部15が形成されている。座部15の内周側は、 少し上方に立上がった環状リブ17として形成されて、第2クリップ頭部下面の リング状突出部を内周側から包囲して、第2クリップ頭部を回転可能に安定に支 持するとともに、フットレスト本体の成形の際に本体部14へフットレスト本体 材料が入り込まないように密封する。円環の壁形状に形成された頭部13の上部 には、頭部13の中空部分に受入れた第2クリップ頭部をそこに保持するように 、ロック爪18が形成されている。ロック爪18は、直径方向に対向して2つ形 成されて、第2クリップ頭部を2個所で抜け出さないように保持する。ロック爪 の数は任意である。ロック爪18は、第2クリップ頭部を頭部13の中空部分に 押込むのを容易にするため、外側へ撓むことができる。そのため、ロック爪18 と他の部分との間には2つのスリット19が形成されて、細長く延びるロック爪 18全体を撓み易くしている。スリット19は、また、第2クリップ頭部側面の 突起に嵌合する凹部としても機能し、その嵌合によって、係合位置にある第2ク リップ11を、不用意に回転しないように保持することができる。

$[0\ 0\ 1\ 2]$

第1クリップ10の本体部14は、スタッドを受入れる筒状体であり、第2クリップ頭部下面から延びる解除カムを受入れる筒状体として形成されている。本体部14は、頭部13の下部からスタッド受入開口部までの外周壁部21が、内側の空間を包囲するように、連続して形成され壁部として形成されている。特開2000-168422号のクリップの場合、外周壁部には、例えば、係止爪の形成のための成形穴が形成されているが、図示のように、本体部14の外周壁部21には穴がなく内側の空間を閉じている。これによって、フットレスト本体の成形の際に本体部14の内側へフットレスト本体材料が入り込まないように密封する。従って、フットレスト本体の成形のとき、第1クリップ10の中空部内に材料が浸入するのを防止するための措置が不要になる。外周壁部21には、頭部13との境界部に円形リブ22が形成され、円形リブ22からスタッド受入開口

部側に長手方向に延びる縦リブ23が、周方向に間隔をおいて複数(図示の例では4個)形成され、更に、スタッド受入開口部側にも円形リブ25が形成されている。これらのリブ22、23、25は、第1クリップ10の補強に役立つものであり、更に、フットレスト本体の成形の際に、フットレスト本体の中に食い込み、フットレスト本体の中で第1クリップ10が軸線方向に移動するのを防止し(円形リブ22及び25)、軸線回りに回転するのを防止(縦リブ23)する。

[0013]

第1クリップ10に本体部14の内側には、スタッドに係合するための係止爪 26が直径方向に対向して一対設けられている。各係止爪26は、本体部14の 内壁から延びる弾性の板状体27に連結及び保持されて、係止爪26にスタッド と係合する方向に弾性を付与している。板状体27は、図5に図示のように、係 止爪26の両側に延長しており、また、係止爪26の上方に延長している。この 上方延長部分を含めて、板状体27は、第2クリップ11の解除カム(後述)に 係合する位置にあって、係止爪26とスタッドとの係合を解除する解除レバーと して機能するので、解除レバー27と呼ぶ。解除レバー27は、図4に図示のよ うに、Cの字を上下に2つ連結した形状に形成され、係止爪26にスタッドと係 合する方向に弾性を付与しつつ、半径方向外側にも撓め得るように形成されて、 係止爪26をスタッドに係合しない解除位置に移動することができる。解除レバ -27の中央であって係止爪26の上方には、半径方向内側に小さく突出する突 起29が形成されている(図4及び図5参照)。この突起29は、第2クリップ の解除カムの中央部の凹部と軽く嵌合することができ、第2クリップ11を解除 位置に停止する。このとき、解除レバー27は半径方向外側に撓み。係止爪26 もスタッドから離れて係合が外される。

$[0\ 0\ 1\ 4]$

第1クリップ10の下部には、スタッド受入開口部30が形成されている。スタッド受入開口部30は、図5及び図6に図示のように、入口部分が広くテーパして開口しており、スタッドを拾い易い形状に形成されている。本体部14の内側の係止爪26に近い部分には、入ってくるスタッドが本体部14の中心に位置するように直立するガイド31が、直径方向に対向して一対形成されている。

[0015]

図7及び図8を参照して第2クリップ11を説明する。第2クリップ11は、 第1クリップ10の頭部13に受入れられる直径を持つ大径の頭部33と、頭部 から垂下して係止爪26に近い解除レバー27まで延びる、断面半円形状の細長 い解除カム34とを包含する。解除カム34は、係止爪26及び解除レバー27 - に対応して、直径方向に対向して2つ形成されている。各解除カム34は、第2 クリップが係合位置にあるとき、解除レバー27(あるいは係止爪26にもその 延長部にも)係合しない位置にある。その位置は、図4において、ガイド31の ある位置の紙面より上方の位置である。この位置に解除カム34があるとき、第 2クリップ11は係合位置にあり、係止爪26には、スタッドと係合する方向へ の弾性が付与される。他方、第2クリップ11が解除位置にあるとき、解除レバ ー34は、解除レバー27(あるいは係止爪)の中央部に係合して、解除レバー 27 (あるいは係止爪26) を半径方向外側に撓めてしまい、係止爪26をスタ ッドから離す。その位置は、図示の例では、係合位置から90度回転した位置で ある。この回転の際、解除カム34は半円形状断面を有するので解除レバー27 に係合して徐々に且つ滑らかに解除レバー27及び係止爪26を半径方向外側に 撓めていく。また、解除カム34の中央には、解除レバー27の突起29に軽く 嵌合する凹部35が形成されている。第2クリップ11が解除位置から不用意に 回転することがなくなり、また、作業者には、係合位置から解除位置への回転を 嵌合によって知ることができる。

$[0\ 0\ 1\ 6]$

第2クリップ11の頭部33は、その表面に、マイナスドライバ等の工具係合用の溝37が形成されている。これによって、マイナスドライバ等を用いて第2クリップ11を固定の第1クリップ10に対して軸線回りに回転できる。この溝はプラスドライバを係合できるように、十字溝でもよいが、図示のように、マイナス溝にすると、上からの目視によって、第2クリップ11の係合位置と解除位置を知ることができる利点がある。更に、工具係合溝は工具が係合できる限り溝でなくともよく、例えば突起等であってもよく、任意に形状の工具係合部に形成できる。また、第2クリップ11の頭部33の側面には、頭部33の側面を包囲

する第1クリップ10の頭部13の内周面に形成された2対のスリット19に軽く嵌合する突起38が、スリット19に合わせて、2対形成されている。これらの突起38は、第2クリップ11が係合位置にあるとき、対応のスリット19に嵌合する位置に設けられている。これによって、第2クリップ11が係合位置から不用意に回転することがなくなり、また、作業者には、解除位置から係合位置への回転を嵌合によって知ることができる。

$[0\ 0\ 1\ 7]$

解除カム34の長さは、本実施例では、解除レバー27まで延びて係止爪26まで延びないように形成されている。しかし、解除レバーを設けずに、係止爪26を直接撓めて解除するようにもでき、その場合には、係止爪26まで延ばしてもよい。その場合、解除カムは係合位置において係止爪がスタッドへ係合するのを妨げないようにする。頭部33の下面には、外周側にリング状突出部39が形成されている。このリング状突出部39は、第1クリップ10の環状リブ17と接面して、第2クリップ頭部を回転可能に安定に支持するとともに、フットレスト本体の成形の際に、本体部14の中空部分へフットレスト本体材料が入り込まないように密封する。

[0018]

上記の第1クリップ10と第2クリップ11とは、図2に示すように、第1クリップ10の中に第2クリップ11の全体が収容された状態に組立てられて、クリップ9ができあがる。このように組立てられた状態で、クリップ9がフットレスト製造工場等に納入される。フットレスト装置の成形は、フットレスト本体を成形するとき、クリップ9は、インサートとして、成形型の所定の位置に固定される。このインサート成形の様子が図9に示されている。図9において、成形型41及び42によって成形される。なお、成形型42には、クリップ9の位置決めピン43が所定位置に固定されており、この位置決めピン43にクリップ9を固定することによって、フットレスト本体45の所定位置に固定される。図9において成形型41と42の間にフットレスト本体45を形成する材料を注入して成形する。フットレスト本体45は一部だけ示されている。その全体形状は、図1のフットレスト本体2に似ている。しかし、本発明において、フットレスト本

体45のクリップ9が取付けられた位置には、フットレスト本体の表面から、第2クリップ11の頭部表面の工具係合構37に工具を係合できるように延びる穴46が形成される。このため、成形型41には穴46を形成する棒状突起47が形成されている。また、図1のフットレスト本体2と違って、クリップへのフットレスト材料の浸入を阻止するスリット及びシール部材は必要なく、突起47により第1クリップ10の環状リブ17が第2クリップ11に押付けられて、フットレスト材料の浸入を阻止する効果がより向上する。

[0019]

フットレスト本体45の成形によって、クリップ9は、円形リブ22、25及び縦リブ23によって、フットレスト本体45に、軸線方向に移動せず且つ軸線回りに回転しないように、固定される。従って、第2クリップ11を回転させても第1クリップ10が共回りすることはなく、第2クリップ11を係合位置解除位置の間で選択的に角度回転することが確実に行える。その一方で、不用意にフットレスト本体をフロアから持ち上がって外れそうになっても、フットレスト本体45がクリップ9から分離することはなく、フットレスト本体45はクリップ9によってしっかりと取付けられたままに維持される。なお、クリップ9は、フットレスト本体45に、図1のように、2個所に取付けられることが多い。

[0020]

図10(A)及び(B)は、(特に図10(B))は、クリップ9とクリップ9を固着したフットレスト本体45から成るフットレスト装置49が、車体フロア50に取付けられたねじスタッド51(又は周溝が形成された棒状スタッドでもよい)にクリップ9が固定されることによって、フロア50に取付けられた様子を示している。この取付作業は、フロアに立設されたねじスタッドに対応する位置にフットレスト本体の取付け面を対向させ、クリップをねじスタッドに位置決めし、クリップがねじスタッドを受入れるように、フットレスト本体を押し込むだけでよい。図10(A)は、図10(B)のD-D線断面図を示しており、係止爪26がスタッド51に係合して様子を示している。交換等によってフットレスト装置49をフロア50から取外す場合、フットレスト本体45の穴46から、クリップ9の第2クリップ11の頭部33に向けて、マイナスドライバの先

端部53が挿入されて、その先端部53を工具係合溝37に係合させる。

[0021]

図11(A)及び(B)において、工具係合溝37に係合したマイナスドライバの先端部53が90度回転させられ、第2クリップ11が係合位置から解除位置に角度回転させられる。この角度回転によって、第2クリップ11の頭部33が回転して、解除カム34が解除レバー27を半径方向外側に撓め、係止爪26がスタッド51から係合を解除するように離れる。なお、図11(A)は、図11(B)のE-E線断面図を示している。図11(B)の符号54は、広がった係止爪26の間の間隔を示している。第2クリップ11を解除位置へ回転させると、解除カム34の中央の凹部35が、解除レバー27の突起29に軽く嵌合するので、作業者には、係合位置から解除位置へ回転の完了の嵌合の感覚(クリック感)によって知ることができる。また、これによって、第2クリップ11が解除位置から不用意に回転することがなくなり、解除位置が保持される。クリップ9が2個ある場合、両方のクリップの第2クリップを解除位置に回転して、フットレスト本体49を持ち上げれば、フットレスト装置49は、その全体がフロアから取外しできる。

[0022]

【発明の効果】

本発明によれば、フットレスト本体の衝撃吸収性をそのまま維持でき、フットレスト装置は、第1クリップによってフロアに確実に位置決め固定され、第2クリップを係合位置から解除位置に一定角度回転するだけで、第1クリップとスタッドとの係合を解除でき、それによってフットレスト装置全体をフロアから簡単に取外しできる。フットレスト装置を再利用する場合には、第2クリップを係合位置に戻すと、第1クリップはスタッドと係合可能になるので、第1クリップをスタッドを受入れるようにフットレスト装置をフロアに向けて押し込むと、フットレスト装置がフロアに取付けられ、再利用も簡単にできる。

また、本発明のフットレスト装置用クリップによっても、第2クリップを係合 位置から解除位置に一定角度回転するだけで、第1クリップとスタッドとの係合 を解除でき、フットレスト装置全体をフロアから簡単に取外しでき、フットレス ト装置を再利用する場合にも、第2クリップを係合位置に戻すと、第1クリップはスタッドと係合可能になるので、第1クリップをスタッドを受入れるようにフットレスト装置をフロアに向けて押し込むと、フットレスト装置がフロアに取付けられ、再利用も簡単にでき、更に、第2クリップは第1クリップの中に収容されて、全体として1つのクリップとなるので、フットレスト本体の成形の際にインサートとして一体成形することができる。

【図面の簡単な説明】

- 【図1】 従来(特開2000-168422号) フットレスト装置(クリップが透視されている)の斜視図である。
 - 【図2】 本発明の実施例に係るクリップの斜視図である。
 - 【図3】 本発明の実施例に係るクリップの第1クリップの斜視図である。
 - 【図4】 図3の第1クリップ平面図である。
 - 【図5】 図4の第1クリップのA-A線断面図である。
 - 【図6】 図4の第1クリップのB-B線断面図である。
 - 【図7】 本発明の実施例に係る第2クリップの斜視図である。
 - 【図8】 図7の第2クリップのC-C線断面図である。
- 【図9】 本発明の実施例に係るクリップをインサートとしてフットレスト 本体を成形する様子を示す部分断面図である。
- 【図10】 フロアへ取付けた、本発明の実施例に係るフットレスト装置の 使用例を示す断面図である。
- 【図11】 図10のフットレスト装置をフロアから取外す場合の第2クリップを解除位置にした例を示す断面図である。

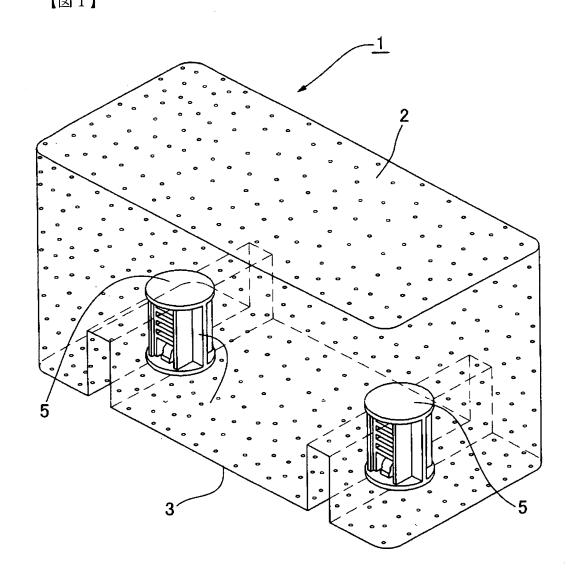
【符号の説明】

- 1 従来のフットレスト装置
- 2 フットレスト本体
- 3 フロア取付け面
- 5 従来のクリップ
- 9 本発明のクリップ
- 10 第1クリップ

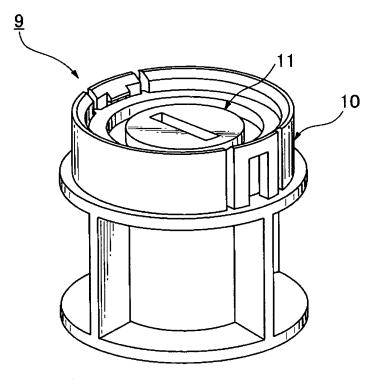
- 11 第2クリップ
- 13 第1クリップの頭部
- 14 本体部
- 15 座部
- 17 環状リブ
- 18 ロック爪
- 19 スリット(凹部)
- 21 外周壁部
- 22 円形リブ
- 23 縦リブ
- 25 円形リブ
- 26 係止爪
- 27 解除レバー (板状体)
- 29 突起
- 30 スタッド受入開口部
- 31 ガイド
- 33 第2クリップの頭部
- 34 解除カム
- 3 5 凹部
- 37 工具係合溝
- 38 突起
- 39 リング状突出部
- 41、42 成形型
- 43 位置決めピン
- 45 フットレスト本体
- 46 穴
- 49 フットレスト装置
- 50 フロア
- 51 ねじスタッド

53 マイナスドライバ先端部

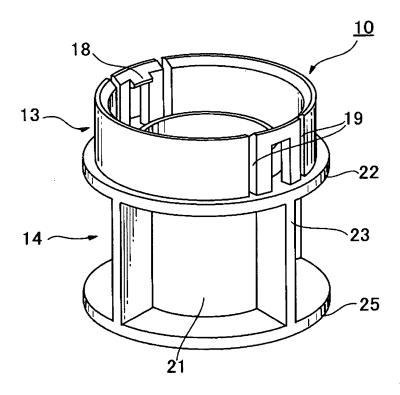
【書類名】図面【図1】



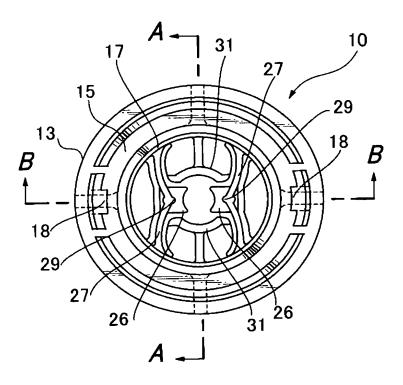
【図2】



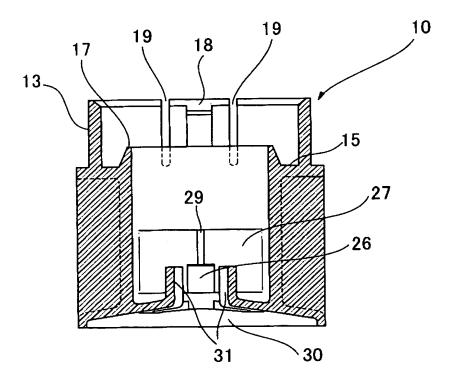
【図3】



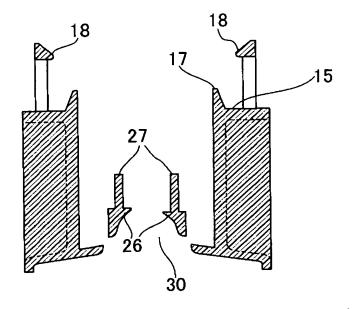
【図4】



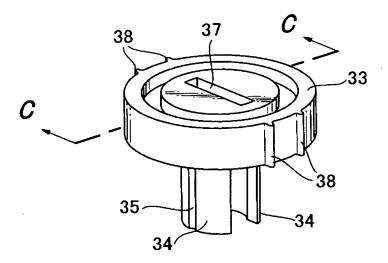
【図5】



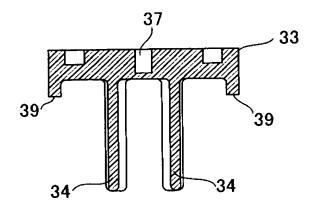
【図6】



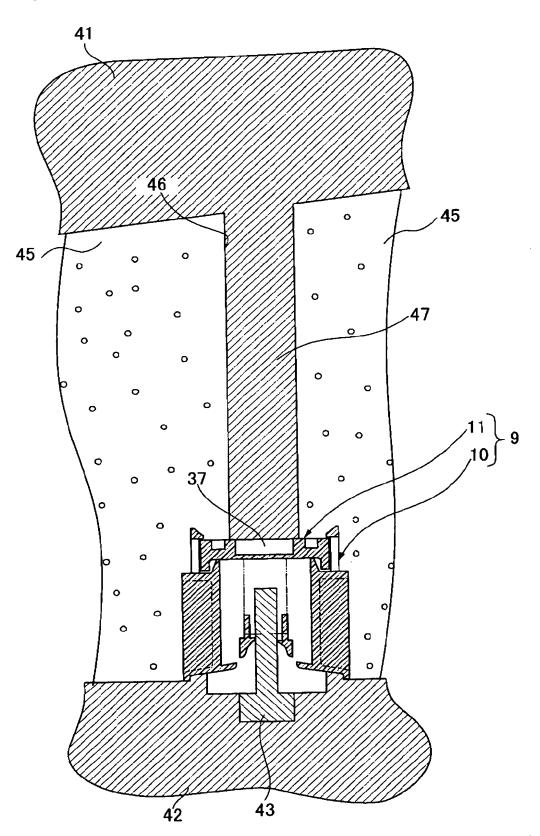
【図7】



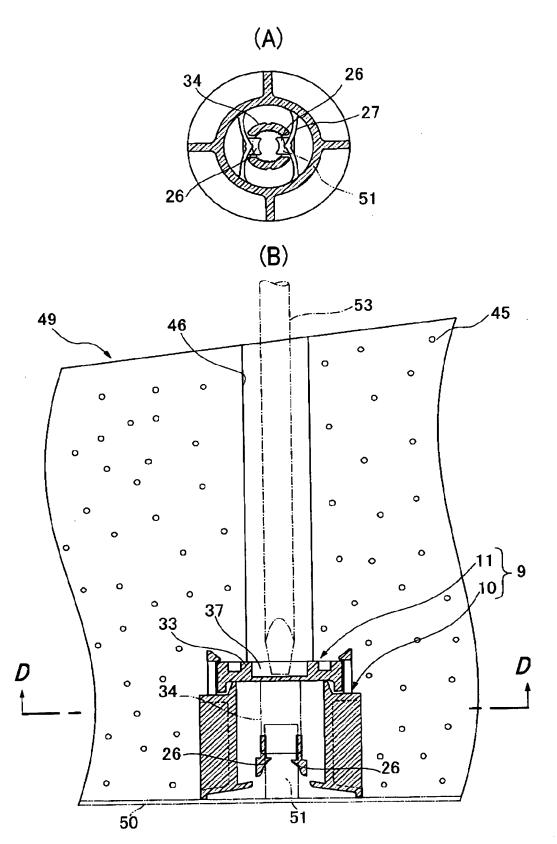
【図8】



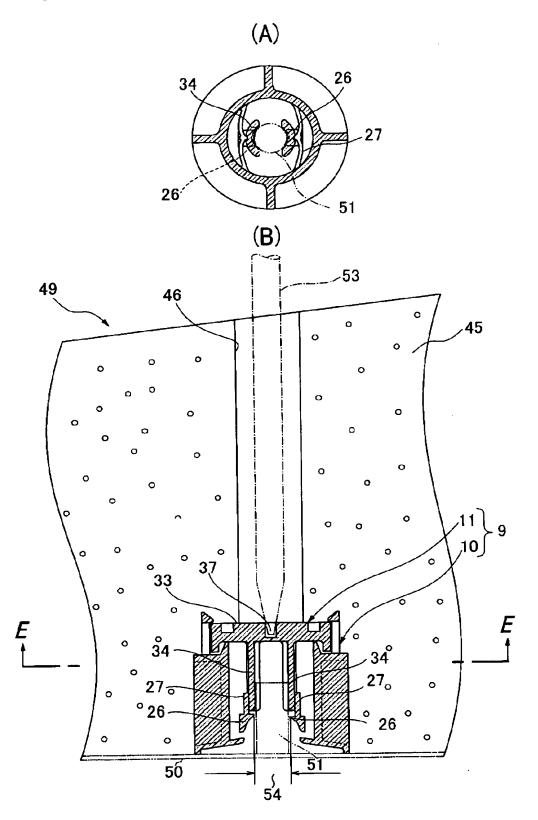
【図9】



【図10】



【図11】



【書類名】

要約書

【要約】

【課題】 フロアに取付けたスタッドを利用してフットレストの位置決めを確実にでき且つ衝突等の衝撃も吸収できる、クリップと一体成形されるフットレスト装置を簡単に取外しできるようにする。

【解決手段】 プラスチック材料で形成されたフットレスト本体45と、フロア50に取付けたねじスタッド51を受入れるように、フットレスト本体のフロア取付面に設けられたクリップ9とを備え、クリップ9は、スタッドに係合する係止爪26を有する第1クリップ10と、第1クリップ10の係止爪とスタッドとの係合の解除を可能にする第2クリップ11とから成り、第1クリップ10は、内側に係止爪を有する筒状体として形成されてフットレスト本体に固着され、第2クリップ11は、第1クリップの筒状部の中に軸線回りに回転可能に収容されて、第1クリップの係止爪がスタッドに係合できる係合位置(図10)と、係止爪26をスタッド51に係合させないように撓める解除位置との間で選択的に角度回転させることができる。

【選択図】

図11

特願2001-231151

出願人履歴情報

識別番号

[390025243]

1. 変更年月日

1995年 5月12日

[変更理由]

住所変更

住所

東京都千代田区紀尾井町3番6号

氏 名

ポップリベット・ファスナー株式会社